

平成27年 大館市の10大ニュース

順位	項目	説明
1	統一地方選挙、福原新大館市長が誕生	4月に統一地方選挙が行われ、任期満了に伴う大館市長選で福原淳嗣氏が当選し、24年ぶりとなる新市長が誕生した。新市長は、「ものづくりの力」「物語を作る力」による交流人口の拡大を目指している。 また、市議は定数28人に対し37人が立候補、現職21人、元職1人、新人6人が当選した。
2	北陽中学校が開校	第二中学校、花岡中学校、矢立中学校が統合し、4月に北陽中学校が開校した。3校の伝統を承継して新たな歴史を築き上げていこうと、生徒と職員が一丸となって、地域に元気を届けられる学校づくりを進めている。「明るく、さわやかに、心から笑顔で」をキャッチフレーズにしたあいさつ運動「あさこえ運動」や地域と連携したボランティア活動に力を入れている。
3	二井田地区工業団地が完売	2月にニプロパッチ株式会社が県営大館第二工業団地に進出。県誘致企業の認定を受け、3月に用地2.6haを取得、5月に着工した。来春竣工後に操業を開始し、許認可等の手続きが完了次第、生産を開始する見込みである。 ・建築面積約3,400㎡。事業費約38億円。 ・新規雇用者は、操業開始時に22人、将来的には124人の計画
4	常陸大宮市と友好都市協定を締結	10月21日に常陸大宮市との友好都市協定を締結し、記念式典及び祝賀会を開催した。当日は常陸大宮市の三次市長、秋山市議会議長を始め、市議会議員、市職員の皆さんが本市を訪れた。 同月開催の「大館市圏域産業祭」には、常陸大宮市のブースも設けられた。一方、大館市では11月3日に開催された常陸大宮市の「ふるさと祭りおのみや」に出店するなど、両市間の交流も始まった。
5	歴史的風致維持向上計画の策定に着手	本市の歴史・文化・伝統に光を注ぐ、「歴史的風致維持向上計画」の策定に着手した。6月に庁内準備会を立ち上げ、10月には組織改正により体制を整えながら、地区座談会や三省庁ヒアリングなどを重ねている。年度内の素案作成を目指し、三省庁とのヒアリングと並行して、市民に計画を周知しながら、重点地区以外の歴史的風致についても広く掘り起していくこととしている。
6	高機能消防指令センターが完成	昨年5月に着工した高機能消防指令センターが完成し、専任通信指令員を配置した指令業務を4月1日から開始した。 導入された新システムは、119番通報受信から活動終了までを一元管理し、迅速、的確かつ効率的な活動が可能となった。災害による被害を最小限に抑えられることが期待される。
7	3R普及啓発施設「大館市エコプラザ」がオープン	3R普及啓発施設「大館市エコプラザ」が5月にオープンした。再生品販売事業、資源回収事業、リサイクルステーション事業など、多彩な事業を実施している。特に、不用となった家具や自転車などを無料で受け入れ、低価格で販売する再生品販売事業は、市民の関心が高く、利用者が多い。土日及び夜7時までの開館についても、市民の利用拡大につながっている。
8	子どもハローワークで「博報賞」を受賞	市教育研究所が「子どもハローワーク」の先進性を評価され、民間の教育表彰として権威ある「博報賞」を受賞した。本市では、釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会に続き、2年連続2回目の受賞。その釈迦内サンフラワープロジェクト実行委員会は、今年、文部科学省、経済産業省共同による「キャリア教育推進連携表彰」を受賞。5年目を迎えた市独自の「ふるさとキャリア教育」が全国の教育関係者から高い評価を受けている。

9	ふるさと大館応援寄附金（ふるさと納税）が3億円を突破	<p>昨年度大幅に増加した「ふるさと納税」だが、その勢いは止まらず、12月24日現在、件数が19,053件、金額が3億6百万円余りとなり、前年度同期と比べ、約3倍となった。</p> <p>寄附金額は県内第1位で、主な要因は、あきたこまち、比内地鶏、きりたんぼセットなどの地元特産品プレゼントの魅力が浸透したことや、ふるさと納税ガイドブック等に掲載されたことなどが挙げられる。</p>
10	大館市総合戦略を策定	<p>喫緊の課題である人口減少対策に取り組むため、10月に「大館市人口ビジョン」を策定して人口の現状分析を進めるとともに、各界の有識者からなる市民懇談会やパブリックコメントを通じて、広く市民からの意見、提言を募りながら、本年度から平成31年度までの5年間を期間とする「大館市総合戦略」を12月に策定した。</p>
	その他のトピックス	<p>「移住しやすい街110」に大館市が紹介（AERA9月14日号）</p> <p>7年ぶりに大館市地域防災計画を全面改定</p> <p>大館市合併10周年記念式典を開催</p> <p>2団体と防災協定を締結</p> <ul style="list-style-type: none"> ・医療救護活動（一社 大館北秋田医師会） ・応急救護（公社 秋田県柔道整復師会大館支部） <p>平成26年度の収納率が過去最高。県内13市でトップを継続</p> <p>個人番号（マイナンバー）の指定と通知が始まる。</p> <p>家庭ごみ分別アプリ「ゴミチェッカー」の運用開始</p> <p>大館市の高齢化率が35%台に上昇</p> <p>大館市第6期介護保険事業計画・高齢者福祉計画を策定</p> <p>子ども・子育て支援新制度が本格スタート</p> <p>交流人口増加に向け、トップセールスによるアツアツ圏へのアプローチを本格化</p> <p>「えだまめ のまち大館」の取り組み拡大</p> <p>飼料用米等の作付が3.4倍に拡大</p> <p>過去最大級の豪雪に見舞われる。</p> <p>「大館市住宅リフォーム緊急支援事業」の補助対象工事費が100億円を突破</p> <p>日本海沿岸東北自動車道が全線着工</p> <p>片貝家ノ下遺跡で屋根が残った状態の古代建物跡が発見</p> <p>「教育大綱」の策定と「総合教育会議」の設置</p> <p>総合病院の「呼吸器外科」新設と扇田病院の「眼科外来」診療再開</p> <p>総合病院で「地域包括ケア病棟」の導入を決定</p> <p>大館市消防団再編計画がまとまる。</p> <p>自主防災組織カバー率が97.3%に上昇</p>